

毎週一曜日出刊

86,000部

市原市全域・袖ケ浦市(一部)の
読売・朝日・毎日新聞に折込配布

広告掲載店募集

よりよい地域をめざして...

市原版

シティライフ

広告のお問い合わせ sales@cl-shop.com 記事・情報 is-kill@cl-shop.com

No.986 5月23日発行

ケータイ販売SPマックス docomo
N-01A/P-01A/GH-01A/GH-03Aに機種変更される方へ
マウス1個目+マウス2個目まで
最大利用機種継続利用10年超の方で
13,500円引
最大利用機種継続利用10年未満の方で
8,250円引
TEL 0436-60-8639 市原市姉崎581-7
http://town-page.org/
おトク情報・販売価格等は
一から確認できます

市原の美味しいを市内外に発信しよう 「不況こそチャンス！」

(仮称)「いちばらうまいもの会」発足

八幡屋店主 中村 雅人さん

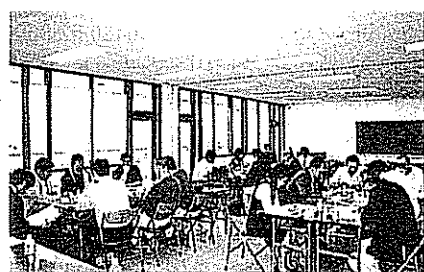


「不景気だからとあきらめ
ちゃダメ。市原には美味し
い料理を出す店がいっぱい
あるんだから、皆
に知ってもらおう
よ。地元のお店が元
気になれば、もっ
と市原は活気ある
地域になるはず」
と、呼びかけるの
は市原市潤井戸で
うなぎ料理店「八
幡屋」を経営する
中村雅人さん(50)。

中村さんは常々
市原に暮らす人た
ちが市外の飲食店
に出かけてしまう
ことを残念に思っ
ていた。皆、知ら
ないだけで市内にも美味し
い料理を出す隠れた名店は
たくさんあるのにと。店の
経営者がうまくアピールで
きなかったり、集客のため
の努力や工夫が足りないの
に感じて。そこで、「1軒の店
だけが頑張るより、より多
くの店が力を合わせて大々
的に地元の飲食店をアピ
ールした方が効果的」と、今
年に入り行動に移した。有
志を募り月に一度、市内の
公民館で会議を開いた。集
まった顔触れは、日本料理、
洋食、蕎麦、ラーメン等々、
多様な飲食店の経営者の皆
さん。

「ネーミングについては、
いろいろ案が出たが、一
番多かった『いちばらうま
いもの会』にしよう。会
に参加できるのは市内のチ
ェーン店ではない個人飲食
店。あんまり高くちゃお客
さんもひいてしまうから、
500円から2000円ぐ
らいの価格で『うちの店の
逸品』を挙げられること。
参加店は皆、会独自の幟旗
(のぼりはた)を店先に掲げ
る。そうすることで、お客
さんに会の目印としていた
だけ」

「より多くの加盟店を募集
中だが、」経営者としての
日々の努力を惜しむ人は困
る」と中村さん。厳しい言
ひだ。



そこにあぐらをかくことな
く「この不況を嘆いて手を
こまねいているだけでは現
状を打破できない。景気の
いい時には気づかなかった
または忙しくて気にもかけ
なかった店の改善点を考え
魅力ある店づくりに頑張
るべき。不況こそ反省とグ
レードアップのいい機会と考
えよう」と、あくまでも前
向きな姿勢を崩さない。

「会議の他、勉強会や視察
会、繁盛店の店主による購
読会などもやっていくた
ら。始動に向け、ロゴやグ
ッズ、HPの内容など具体
的に検討中。更に、201
0年に開催される『千葉国
体』での市外からのお客さ
んをターゲットにした飲食
店マップも「知らない土地
で安心して飲食できる店の
目安にしてもらえるのでは
」と作戦を考えている。行政
の補助事業申請も考えてお
り、できれば年内に活動を
スタートしたいとのこと。
将来的には、飲食店のみな
らず居酒屋や宿泊業などの
経営者も取り込んで共に
「元氣なまち」を発信してい
きたいと話す。参加希望の
方は問い合わせを。
チャリティーコンペの開
催や老人ホーム慰問を20年
近く続けている中村さん。
地元の祭りにも「子どもた
ちに思い出づくりを」と力
を注ぐ。「皆と一緒に」「人
に喜ばれるのが何よりも嬉
しい」と繰り返す。その裏
面は風貌に似合わず「倦
て寂しがりやだから」が口
癖のよう。高校卒業後、母
の仕事を手伝い、早くに十
くなった父の跡を継ぎ22歳
で経営者となり40年近く経
つ。現在、息子さんがラー
メン店を営んでいる。

市原市商工会議所
0436-22-4305

(内田)

Handwritten note: H21.5.23.土 市原版